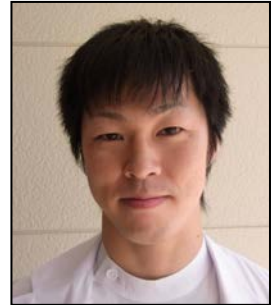




初めての症例報告を経験して

姫島村国民健康保険診療所 佐藤 新平 (大分県 30 期)

大分県中津市にある中津市民病院産婦人科 (写真 1) への派遣中に作成した脂質異常症合併妊娠の症例報告¹⁾が、自治医科大学CRST (Clinical Research Support TEAM in JMU) の先生方にご指導いただき、Journal of Obstetrics and Gynaecology (JOGR) に掲載されることになりましたので、ご報告させていただきます。



まず、中津市民病院産婦人科と自分の経歴について、簡単に述べさせていただきます。中津市民病院は大分県の北部に位置しており、産婦人科は産婦人科医の医師不足

により一時休診となっていました。行政・大分県産婦人科医会・大分大学医学部産婦人科の協力で 2009 年から産婦人科を再開しています。自分は、初期研修終了後の 2009 年から自治医科大学産婦人科で 1 年間の後期研修を終えた後、2010 年 (医師 4 年目) から中津市民病院産婦人科に赴任しました。当時は産婦人科医 2 名 (自分と上級医 1 名) でしたが、現在は 4 名体制になっています。

症例報告作成のきっかけは、義務年限内に産婦人科専門医試験の受験資格を得ておきたいという少し不純な動機です。専門医受験資格取得には論文が 1 編以上必要で、産婦人科診療をしている間に作成したいとずっと思っていました。そんな折、脂質異常症合併妊娠の症例の管理方法について調べることがあり、実際に勉強してみると参考になる資料も少なく、内科の先生と相談をしながら治療を行っておりました。

そんな症例を経験した半年ほど後、もしかしたら症例報告ができるかもしれないと考えました。自治医大で後期研修していた時に、松原茂樹 教授から CRST という存在があることは前々からうかがっていました。まず CRST のホームページ <http://www.jichi.ac.jp/dscm/> にあった News Letter を読みました。東京都 27 期 佐藤敏秀 先生の論文作成記の News Letter も、自分の意欲になりました。まったくの余談ですが、佐藤先生は自治医大ラグビー部の大先輩で、学生時代にご指導いただいていたのですが、写真は 10 年前と全く変わっていませんでした。

次に、『臨床研究と論文作成のコツ』(松原編著,東京医学社)を購入し、自分が集めた脂質異常症合併妊娠の資料を見ながら、自分なりに症例報告を日本語で作成して、CRST にメールでご相談させていただきました。最初の症例報告ですととにかく頑張りましたが、いま振り返ると本当に情けない文章です。CRST 事務局からお返事をいただき、松原教授直々に症例報告として成立する症例であることと症例報告作成の方向性を示していただきました。その後、自治医科大学産婦人科 大口昭英 准教授に直接ご指導いただき、症例についての検討、他の文献との比較、そして、結論についてメールでやりとりをしていただくうちに症例報告としての形が徐々にできあがっていきました。もとの情けない文章がこうも変わっていくものかとびっくりしました。また、本当に恥ずかしい話ですが、『原著と会議録の違い』、『英文校正』、『投稿雑誌の選定』、『Impact factor』などの一般的な知識も全くなかったので、症例報告の作成方法について馬鹿馬鹿しい質問をすべて大口先生にお聞きし、一つ一つ教えていただきました。さらには、脂質異常症という内分泌代謝疾患について自治医大さいたま医療センター 河野幹彦 教授をご紹介いただき、ご指導いただきました。学生時代の教科書やノート・

プリントを引っ張り出しましたが、わからないことが多々あり、先生に初歩から教えていただくという状況でした。両先生とも大変お忙しいにもかかわらず、丁寧に、しかも迅速にご返答くださり、本当にありがとうございました。自分ひとりではこのような形まで完成できずに、途中で挫折していたように思います。

この貴重な経験談が少しでも後につづく後輩や学生の論文作成のきっかけになればと思い、筆を執らせていただいた次第です。大分出身・自治医大ラグビー部の後輩には、いつか作成する症例報告や論文作成に備えて『臨床研究と論文作成のコツ』を購入するように話しています。

最後になりましたが、症例報告作成に当たり、ご指導いただいたすべての先生方にお礼を申し上げたいと思います。お忙しい先生方の、本当に貴重なお時間を自分の指導にあてていただき、本当にありがとうございました。この経験を次の論文作成や診療に生かせるよう、これからも努力させていただきます。



1) Shimpei Sato, Akihide Ohkuchi, Mikihiko Kawano, Naoko Iwanaga, Yuichi Furukawa, Harunobu Matsumoto.
Effect of eicosapentaenoic acid agent on aggravated hypertriglyceridemia during pregnancy. J Obstet Gynaecol Res, in press.

！！地域医療オープン・ラボNews Letter原稿募集！！

地域医療オープン・ラボでは、自治医大の教員や卒業生の研究活動を学内外へ発信するために、「自治医科大学地域医療オープン・ラボNews Letter」を定期的に発行しています。

<http://www.jichi.ac.jp/openlab/newsletter/newsletter.html>

- ☆ 自治医大の教員や卒業生の研究活動をご紹介ください
- ☆ 自薦・他薦を問いません
- ☆ 連絡先：地域医療オープン・ラボ openlabo@jichi.ac.jp

【発行】自治医科大学大学院医学研究科
地域医療オープン・ラボ運営委員会
事務局 学事課大学院係 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
TEL 0285-58-7477/FAX 0285-44-3625/e-mail openlabo@jichi.ac.jp
<http://www.jichi.ac.jp/graduate/index.htm>